

ビザ免除プログラムでの旅行(VWP)

新規参加国のための情報

下記の全ての質問に対する回答が「はい」の場合
ビザ免除プログラム(VWP)での渡航資格がある可能性があります：

あなたは VWP 参加国の市民、または国籍を持っていますか？

- チェコ共和国、エストニア、ハンガリー、ラトビア、リトアニア、大韓民国、スロバキア共和国の国籍の方は、2008年11月17日以降 VWP での渡航が可能で須。

あなたのパスポートは VWP の条件を満たしていますか？

- 2006年10月26日以降に発行または更新/延長された機械読取式パスポートでデータページの情報が入ったチップが搭載されているパスポート (e-パスポート) である。
- チェコ共和国、エストニア、ハンガリー、ラトビア、リトアニア、大韓民国、スロバキア共和国の国籍の方が VWP を利用して渡航するためにはチップが搭載されたパスポート (e-パスポート) を所持していなければなりません (e-パスポートについては下記の CBP のウェブサイトをご参照ください)。
- パスポートは米国での滞在期間プラス 6 ヶ月間有効である必要があります (特別な協定により免除される国もあります)。
- 以前にパスポート紛失、または盗難の報告をした事がない。

米国での滞在が短期の商用や観光の目的で 90 日以下であり、滞中に必要な十分な資金がありますか？

(注意：報道・ジャーナリスト関係、学生あるいは就労目的の渡航は VWP は利用できません)。

- 米国を通過する場合は適用されます。
- 何か疑問がありましたら、最寄の大使館または領事館にご確認ください。

前回の米国入国の際に問題はありませんでしたか、また米国ビザが不許可になったことはありませんか？

- 有罪判決の有無にかかわらず逮捕歴のある方、犯罪歴 (恩赦や大赦などの法的措置がとられた場合も含む) がある方、重い伝染病を患っている方、過去に米国への入国を拒否されたり、強制送還された方、そして VWP で入国し、オーバーステイしたことがある方は VWP での渡航またはビザなし渡航には該当しません。
- もしあなたが米国移民国籍法 212 条項に基づき米国ビザを拒否された事がある場合は、VWP 渡航の資格がない可能性があります。追加情報が必要な方は、最寄の大使館、または領事館に連絡してください。

空路、または海路で入国する場合、ビザ免除協定会社の航空機または船舶で入国し、復路のチケットを所持していますか？

- 最終目的地がメキシコ、カナダ、バミューダ、カリブ諸島の場合はそれらの国の永住者でなければなりません。

ESTA 認証はお済みですか？

- VWP に新しく参加した国は、プログラムに参加した日から ESTA が必要です。現在の VWP 参加国は、2009年1月12日から ESTA が義務付けられます。
- ESTA についての詳細はこちらの [CBP ウェブサイト\(www.cbp.gov/esta\)](http://www.cbp.gov/esta) をご参照ください。

米国入国について：有効なパスポートあるいは VWP を利用し、ビザなし渡航の基本条件を満たしていても米国に入国できるという保証はありません。ほとんどの国と同様に、入国の可否は入国地の移民審査官が最終的に判断します。

追加情報：

米国大使館ウェブサイト：<http://www.usembassy.gov/>

米国国務省ウェブサイト：http://travel.state.gov/visa/temp/without/without_1990.thml

国土安全保障省/税関国境保安局ウェブサイト ビザ免除プログラム情報

：http://www.cbp.gov/xp/cgov/travel/id_visa/business_pleasure/vwp/vwp.xml